



人々に愛されるアイスクリームを作りつづける…

Häagen-Dazs™

お馴染みのロゴマークには「ウムラウト (ˆ)」というドイツ語の文字が使用されています。縁は「カトゥーシュ」と呼ばれる古代エジプトの象形文字の一種で、その中にあるもの(聖なるもの)を守るという意味が込められているそうです。

スプーンのこだわり

皆さんは普段コンビニなどでハーゲンダッツを買う際、専用のスプーンがついてくることはありませんか？ それを見て、不思議に思ったことありませんか？ 実はそこにも、ハーゲンダッツのこだわりとやさしさがあるのです！

あのスプーンの形は、持ちやすさを意識し開発したそうです。また、スプーンの入っている袋にも工夫があり、口につける方を手で触らないように、取っ手側をギザギザにすることで開けやすくしています。

金のスプーン

某都立高校の商品開発授業で、修学旅行生や中高生が喜ぶお土産を作ろう！とコラボした金のスプーン。この金メッキも金属加工職人の元へ行くなどし、こだわって作ったそうです！私たちもいただきたいちゃいます！

こんなところにもこだわりが!!

——カップにも違いが——
右はストロベリー、左はグリーンティーのカップです。光に透かしてみると、光に弱い抹茶味のカップは光を遮る素材を使用していることが分かります。



アメリカでは473mlのバイントというサイズが一般的な大きさですが、日本の主流は110mlのカップです。

カップの秘密に迫る!



茶葉は光に弱いので、遮光加工がしてあります

↑光を遮り、おいしさを守るカップ



中も見せていただきました。ピンクの絨毯が可愛いストロベリーの部屋。



グリーンティーの部屋の絨毯は、洗ひ抹茶色の内装になっていました。



Q&A

Q ありますか。先行試食会や新商品情報、限定パッケージなどを行っています。ホームページからご登録いただけます。

Q ホームページのアイスをすくった後の写真は、どうやって撮ったのですか？

A おいしそうに見えるようすくうのに、フードコーディネーターやデザイナーさんが苦労されています。特にチョコチップとかが入っていると尚一層苦労しています。一個すくうのに何時間もかかる場合もあります。

——お忙しいなか、ありがとうございます。

Q ライバル視している会社がありますか？

A ありません。世の中においしいアイスクリームが増えるのは大歓迎です。

Q 試食する仕事ってありますか？

A 開発担当者は試食しています。色々な味を食べ比べているため、味覚がよくなったとか。

Q コーンに盛り付けたタイプを売る店は、バリなど海外に多く存在します。日本ではやっていません。

Q ファンクラブがありますか？

A ありません。

【コスト】

Q 高価だと若者に売れないのでは？

A 20代女性をターゲットに販売しているので、中高生には高く感じるかもしれないですね。

【商品】

Q クッキー&クリームに入っているクッキーはオリジナルのものでしょうか？

A ビスケットの専門店に頼んで、ハーゲンダッツに合うものを開発してもらっています。

【材料・レシピ・商品開発】

Q 開発に苦労した商品は？

A いろいろありますが、そのひとつが「クリスピーサンド」です。

「クリスピーサンド」は、楕円形のアイスクリームをキャラメルやチョコレート味のコーティングをし、サクサクとしたウエハースでサンドしたタイプの商品です。アイスクリームの水分がウエハースに付くと、ウエハースが湿気てしまうので、コーティングに穴が開かず、かつアイスクリームを邪魔しないコーティングの薄さにするために苦労しました。

Q 商品にならなかったものもありますか？

A フルーツものは不作や天候の影響でハーゲンダッツ本来のおいしさが表現できず、発売を断念するケースもあります。

Q よりおいしく食べるための方法やレシピってありますか？

A 冷蔵庫から出し、少しおいてからカップの外側を指で押してアイスクリームが少し盛り上がった状態です。ホームページにはレシピ集も載っているので、ぜひ見てください。